Infor LN 品質 品質検査ワークベンチユーザガイド

Copyright © 2017 Infor

重要事項

本書に含まれる資料（あらゆる補足情報を含む）は、Inforの機密及び専有情報に相当し、かつそれを含むものです。

添付を使用するにあたり、使用者は、当該資料（当該資料のあらゆる修正、翻訳または翻案を含む）、すべての著作権、企業秘密、及びそれに関係するすべてのその他権利、権原及び利益はInforが独占所有するものであり、使用者には、別の契約（この別契約の契約条項によって、貴社の当該資料及びすべての関連する補足情報の使用が規定されます）に基づいてInforより貴社に使用許諾されたソフトウェアに関連し、またその使用を促進することのみを目的（以下、「目的」という）として、当該資料を使用するための非独占的権利以外、使用者の閲読に基づく権利、権原及び利益（すべての修正、翻訳または翻案を含む）は付与されるものではないことを認識し、それに同意するものとします。

更に、同封の資料を使用するにあたり、使用者は、使用者が当該資料を極秘扱いで保管しなければならないこと、そして使用者の当該資料の使用は上述の「目的」に限定されることを認識し、それに同意するものとします。Inforは、本書に含まれる内容に誤りや洩れがないよう細心の注意を払っていますが、本書に含まれる内容が完全なもので、誤植やその他の誤りがなく、使用者の個別の要望を満たすことは保証しません。したがって、Inforは、本書（あらゆる補足情報を含む）の誤りまたは不備により、またはそれに関連して生じたあらゆる個人または団体に対する、あらゆる間接的または直接的損失または損害について、その誤りまたは不備が過失、事故またはその他の理由によるものであるかどうかにかかわらず、一切の責任を負わず、かつそれを放棄するものとします。

使用者の本資料の使用は、米国輸出管理法及びその他に限定しない輸出入の適用法に準拠するものとし、使用者は、本資料及びあらゆる関係資料または補足情報を当該法律に違反して、直接的または間接的に輸出または再輸出してはならず、またこれらの資料を当該法律により禁止されるいかなる目的にも使用してはなりません。

商標確認

ここに示す文字標章及び図形標章は、Infor及び/またはその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。無断複製・転載を禁ず。参照されるすべての他の社名、製品名、商標名またはサービス名は各所有者の登録商標または商標です。

発行情報

文書コード	qmqualinspwbug (U9881)
リリース	10.5.1 (10.5.1)
発行日	2017 年 12 月 19 日

目次

文書情報

第1章 品質検査オーダワークベンチ....7
品質検査ワークベンチの導入....7
配置....7
ワークベンチの起動....7
レイアウト....7

第2章 ワークベンチのツールバー....9

第3章 パーソナライズ....11
レイアウトのカスタマイズ....11

第4章 ワークベンチの機能....13
検査オーダの操作....13
定性簡易入力....15
定量簡易入力....16
実際の結果グラフ....16

文書情報

目的

本書の目的は、品質検査オーダワークベンチの目的、およびオーダ検査機能の使用方法を説明することです。

対象読者

本ガイドは、目的に合わせて検査オーダワークベンチを最適に使用する方法を理解したい人を対象にしています。エンドユーザでも管理者レベルのユーザでも、必要な情報を見つけることができます。

前提となる知識

品質での検査処理に関する業務プロセスに精通し、Infor LN の機能の一般的な知識があると、本書の理解に役立ちます。また、すぐに使用を開始できるようになる品質トレーニングコースも用意されています。

本書の概要

第 1 章「はじめに」では、検査ワークベンチセッションの目的と一般的な特徴について説明しています。

第 2 章以降では、ツールバー、ユーザ設定、およびワークベンチセッションの使用方法について説明しています。

本書の使い方

本書は、オンラインヘルプのトピックをまとめたものです。そのため、マニュアルの別のセクションを参照するときは、次の例のように示しています。

参照されたセクションを見つけるには、目次を参照してください。

下線付きの用語は、用語集の定義にリンクされています。本書をオンラインで表示している場合、下線付きのテキストをクリックすると、本書の末尾にある用語集の定義にジャンプします。下線の付いていない参照は、用語集の定義やその他の要素へのリンクではありません。

コメント

弊社は常に文書の見直しや改善を行っていますが、この文書に関するご意見、ご要望などありましたら、documentation@infor.com にご連絡ください。

送信の際には文書番号およびタイトルを明記してください。情報が具体的であるほど迅速な対応が可能です。

Infor へのお問い合わせ

Infor 製品に関するお問い合わせは、Infor Xtreme Support ポータル www.infor.com/inforxtreme をご利用ください。

製品リリースに関する更新情報は、この Web サイトに掲載いたします。このサイトを定期的にご確認ください。

Infor ドキュメントに関するご質問・ご意見は、 documentation@infor.com までご連絡くださいますようお願いいたします。

第1章
品質検査オーダワークベンチ

1

品質検査ワークベンチの導入

この章では、検査オーダワークベンチについて説明します。

品質検査ワークベンチの目的は、既存の機能の統合ビューを提供し、品質管理検査担当の効率を向上し、意思決定をさらに支援することです。

定義した選択基準を使用して、検査オーダがリンクされているオーダ発生元を選択できます。オーダ検査レベルで、次の項目を確認できます。

- オーダ検査にリンクされている検査オーダは、次の検査関連タスクを実行します。
  - 検査オーダラインにリンクされているテストデータラインにデータを指定する
  - 検査オーダラインの有効化/完了を行う
- 下位から集計した情報が表示されます。
- 検査にリンクされているすべての検査オーダについて、実行するテスト数、合格テスト数、および不合格テスト数

配置

品質検査ワークベンチは、製品テスト管理セッションと共に品質に配置されます。

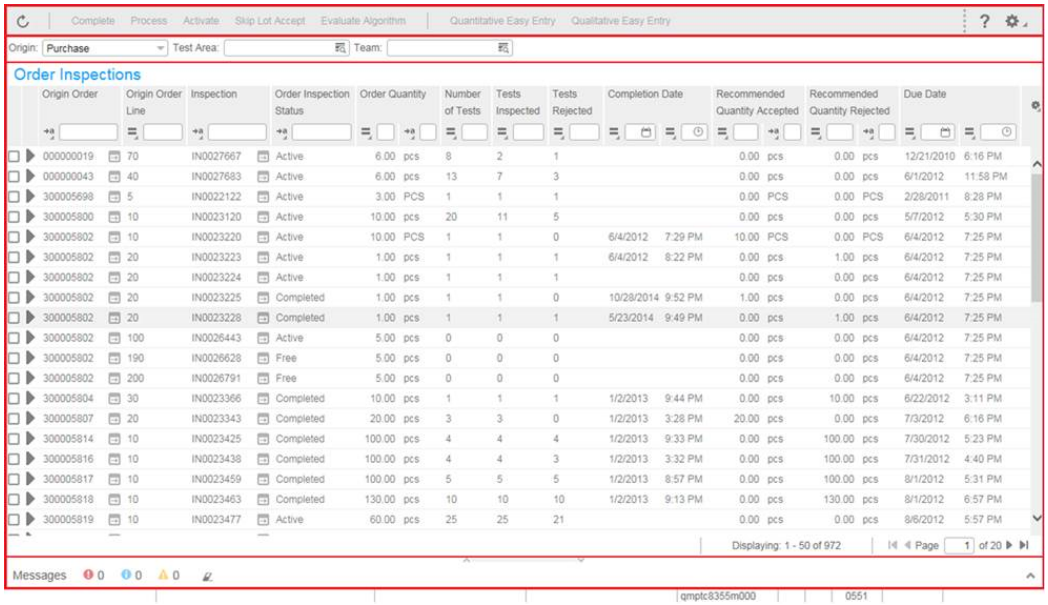
ワークベンチの起動

このワークベンチにアクセスするには、[品質] → [検査オーダ] → [品質検査ワークベンチ] を選択します。

検査ワークベンチ (qmptc8355m000) セッションにアクセスできます。

レイアウト

ワークベンチには、次のセクションがあります。



- ツールバー: このセクションには、更新、完了、処理、有効化など、ユーザが利用可能なさまざまなオプションが表示されます。
- 選択基準: オーダをフィルタ処理するための選択基準が表示されます。
- [オーダ検査] ペイン: 特定の発生元オーダにリンクされたオーダ検査が表示されます。
  - [検査オーダ] ペイン: 特定のオーダ検査にリンクされた検査オーダが表示されます。
  - [検査オーダライン] ペイン: 検査オーダライン、および対応するテストデータラインが表示されます。
- [メッセージ] セクション: このセクションには、変換に関連するエラー/警告メッセージおよび情報が表示されます。

第2章
ワークベンチのツールバー

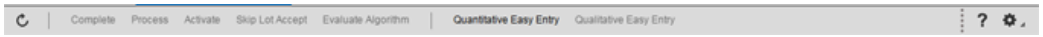
2

この章では、ユーザが使用できるツールバーのオプションについて説明しています。

ワークベンチの操作

ツールバー

次のオプションが利用可能です。



- 更新: 選択したオーダ検査を更新します。注意: なにも選択しない場合、ワークベンチが更新されます。
- 完了: 選択したオーダ検査、検査オーダ、または検査オーダラインの状況を「完了」に設定します。
- 処理: オーダ検査を処理します。
- 有効化: オーダ検査、検査オーダ、または検査オーダラインの状況を「有効」に設定します。
- スキップロットの承認: 選択した検査オーダの状況を「完了」に設定します。
- アルゴリズムの評価: 他の特徴のデータに基づいて、検査オーダテストデータラインのアルゴリズムの特徴の値を計算します。アルゴリズムに基づいて、特定の順序でテストデータラインがソートされて表示されます。計算結果は修正することができません。
- 定量簡易入力: 検査オーダのテストデータライン用の [定量簡易入力] 画面が開きます。このオプションは、検査オーダラインの [結果タイプ] フィールドが [定量] に設定されている場合にのみ有効です。
- 定性簡易入力: 検査オーダのテストデータライン用の [定性簡易入力] 画面が開きます。このオプションは、検査オーダラインの [結果タイプ] フィールドが [定性] に設定されている場合にのみ有効です。

選択基準の指定

次の選択基準を指定して、発生元オーダおよびリンクされている検査オーダを表示できます。

ステップ 1:

発生元: オーダ発生元を指定できます。発生元オーダグループが指定されている場合、グループを構成するすべての発生元についてオーダを表示できます。発生元オーダグループは次のとおりです。

- 販売グループ (販売および販売スケジュール)
- 購買グループ (購買および購買スケジュール)
- 製造グループ (製造 (JSC)、資材 (BOM)、および工順 (TI))
- 倉庫グループ (倉庫移動および倉庫移動 (マニュアル))

ステップ 2:

テストエリア: オーダのフィルタ基準としてテストエリアを指定できます。テストエリアは倉庫にリンクされています。フィルタが指定されている場合、倉庫にリンクされているオーダ検査がすべて表示されます。

ステップ 3:

チーム: オーダのフィルタ基準としてチームの値 (従業員グループ) を指定できます。チームはテストグループにリンクされており、検査オーダにも適用できます。

注意: [テストエリア] および [チーム] の両方のフィールドが指定されている場合、テストエリア別に表示されているデータが先に考慮されます。テストエリアが指定されていない場合、選択した発生元のすべてのオーダ検査は、[チーム] フィールドに指定された値を指定してフィルタ処理されます。

品質ユーザプロファイル (qmptc0130m000) セッションにユーザプロファイルが定義されている場合、ワークベンチの [発生元]、[テストエリア]、および [チーム] の各フィールドのデフォルト値は、このセッションのデータです。

第3章
パーソナライズ

3

レイアウトのカスタマイズ

この章では、レイアウトのカスタマイズにユーザが使用できる設定について説明しています。

要件に基づいてワークベンチの表示を個人用に設定できます。たとえば、セッションの指定フィールドの非表示や並べ替え、フィールド幅の増減を行うには、次の操作を行います。

- ビューを選択してカスタマイズします。
- [レイアウトの個人用設定の保存] オプションを使用して、ビューを保存します。レイアウトの変更を保存しない場合、[レイアウトの個人用設定の保存] 設定は次のように表示されます。

Save Layout Personalization

ワークベンチに再度アクセスするときには、最後に保存したビューが表示されます。

次の設定が利用可能です。

- レイアウトの個人用設定の保存: このオプションを使用して、個人用に設定したビューを保存できます。
- レイアウトの個人用設定のクリア: このオプションを使用して、個人用に設定したビューを消去できます。
- レイアウトの個人用設定の取得: このオプションを使用して、保存済の個人用に設定したビューを取得できます。
- バージョン情報: ワークベンチのバージョンと著作権情報が表示されます。
- フィルタ行の表示: このオプションを選択した場合、列フィルタは表示されません。
- 列の個人用設定: このオプションを使用して、指定フィールドの表示/非表示を切り替えることができます。

第4章
ワークベンチの機能

4

検査オーダの操作

検査ワークベンチ (qmptc8355m000) セッションから、指定した発生元オーダのセッション、検査ライン (whinh2131m000)、および検査オーダ (qmptc1100m100) のセッションにアクセスできます。

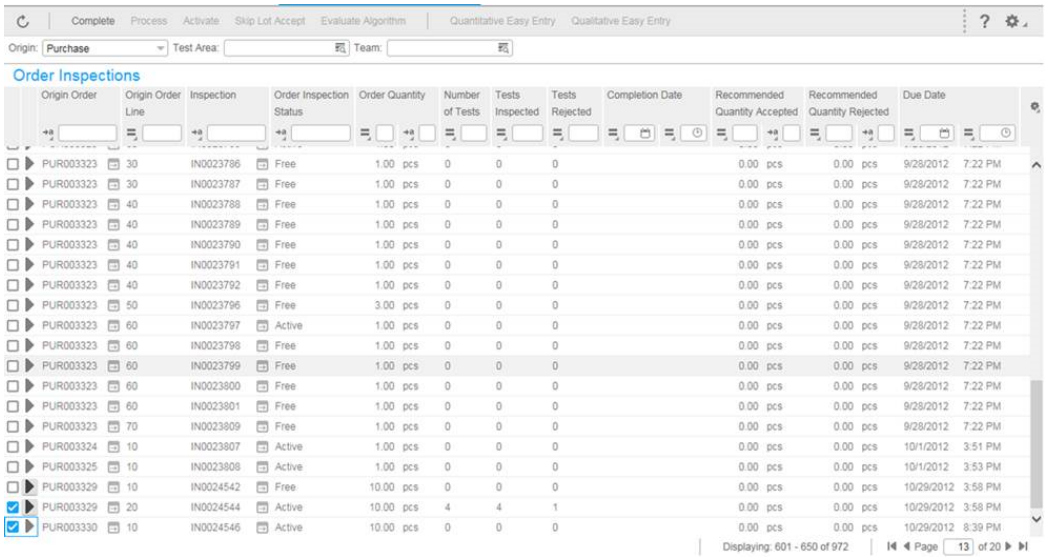
[オーダ検査] ペインに、次の新しいフィールドが表示されます。

- テスト数: 検査オーダにリンクされているテストデータライン数を示します。
- テスト検査済: 検査済のテスト数。
- テスト不合格: 不合格のテスト数。

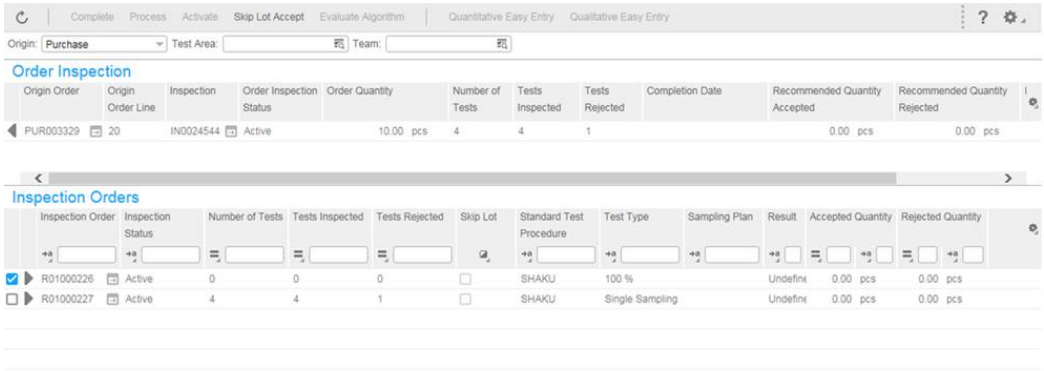
注意: 状況が「処理済」または「クローズ」のオーダ検査は表示されません。

テストデータラインにデータを指定すると、検査担当の従業員 ID がデフォルトで入力されます。

ある検査オーダにリンクされているすべてのテストデータラインにデータを指定すると、検査オーダライン、検査オーダ、およびオーダ検査の状況が「完了」に設定されます。



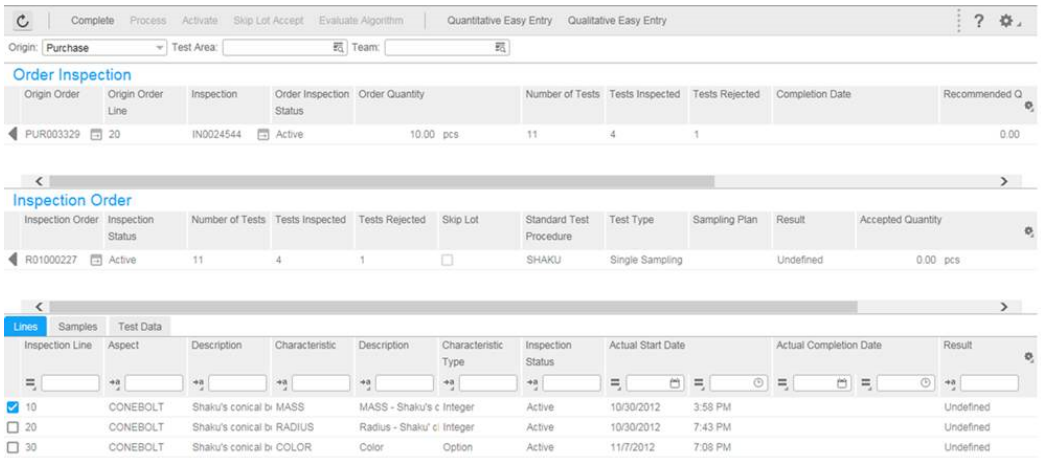
オーダ検査の ▶ アイコンをクリックすると、オーダ検査にリンクされている検査オーダが [検査オーダ] ペインに表示されます。



検査オーダの ▶ アイコンをクリックすると、オーダにリンクされているテストデータラインが表示されます。

[検査オーダ] ペインには、次の 3 つのタブが表示されます。

- ライン
- サンプル
- テストデータ



[検査オーダ] ペインの [ライン] タブでは、次の操作ができます。

- ロット/シリアルデータの表示。[ロット/シリアル番号] フィールドの [数] ボタンをクリックすると、テストデータラインにリンクされているシリアルが表示されます。
- ロット/シリアルデータの修正。[詳細] ボタンをクリックして、既存のシリアルを別のシリアルに置き換えます。
- テストデータラインにデータを指定したユーザの名前の表示。

アルゴリズムに基づいて、特定の順序でラインがソートされて表示されます。アルゴリズムに基づくラインは、アルゴリズムが指定されていないラインの後に表示されます。

[検査オーダ] ペインの [テストデータ] タブでは、次の位置にデータを指定できます。

- テストデータライン
- [定性簡易入力] 画面

- [定量簡易入力] 画面

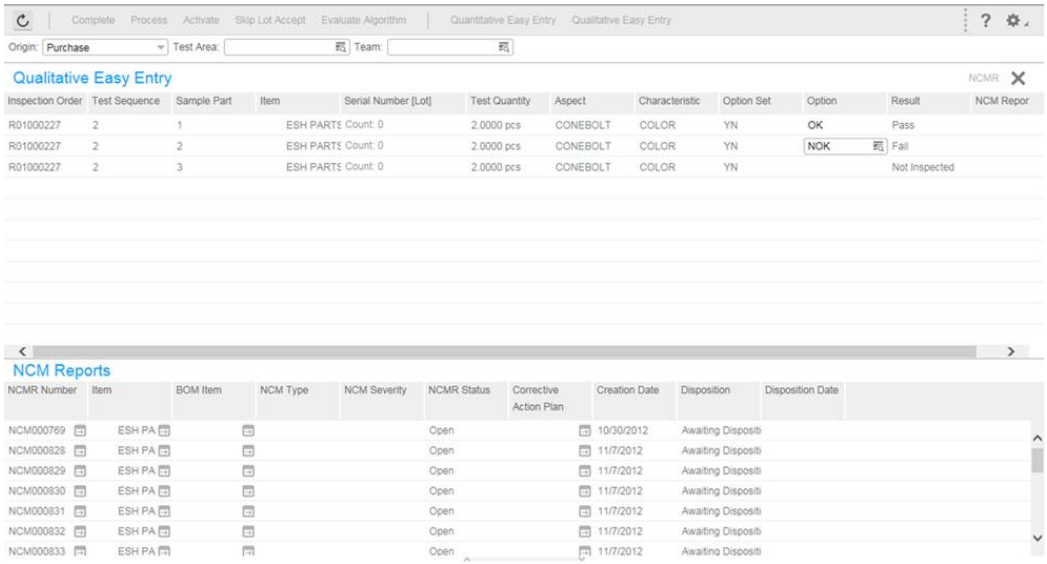
注意

有効な検査オーダラインについて、テストデータラインタブの [結果] フィールドをリセットできます。

[定量/定性簡易入力] ボタンは、選択した検査オーダに定量/定性テストデータラインがリンクされている場合にのみ有効です。

定性簡易入力

この画面には、[検査オーダ] ペインからアクセスできます。[定性簡易入力] オプションは、検査オーダラインの [結果タイプ] フィールドが [定性] に設定されている場合にのみ有効です。



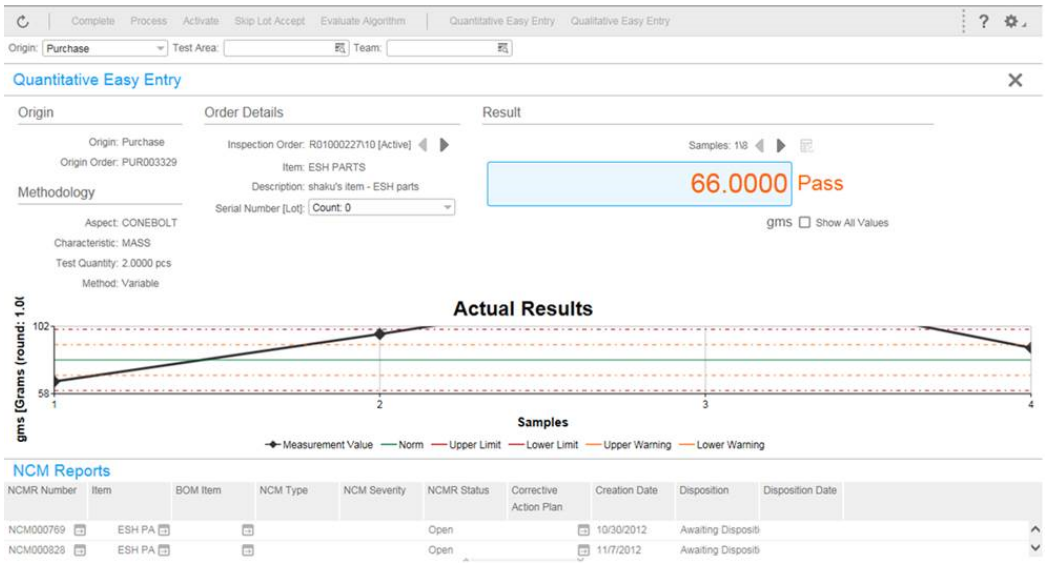
[定性簡易入力] 画面から、次の操作ができます。

- テストデータラインを新しい画面に表示します。
- ラインのテストデータを指定して、品目のロット/シリアルを表示します。ただし、このデータは修正できません。すべてのラインのデータを指定すると、検査オーダラインの状況が「完了」に設定されます。
- すべてのラインのデータを指定した後、 をクリックすると、結果が「不合格」である、選択したテストデータラインの NCMR が生成されます。
- 指定した品目と取引先の組合せについて、不適合レポートを [不適合レポート] ペインに表示します。また、このペインから、不適合レポート (qmncm1100m000)、修正措置計画 (qmcpl1100m000)、品目 - 一般 (tcibd0101s000)、および部品表品目の各セッションにもアクセスできます。注意: 不適合レポートを、「取消済」または「クローズ」以外の状況に設定する必要があります。
-

指定のテストデータ、および検査データラインのデフォルト値は、検査オーダ (qmptc1100m100) セッションの対応する検査オーダラインから取得されます。

定量簡易入力

この画面には、[検査オーダ] ペインからアクセスできます。[定量簡易入力] ボタンは、検査オーダラインの [結果タイプ] フィールドが [定量] に設定されている場合にのみ有効です。



[定量簡易入力] 画面から、次の操作ができます。

- テストデータラインを新しい画面に表示します。
- [サンプル] フィールドに各テストデータを指定します。
- 品目のロット/シリアルを表示します。ただし、このデータは修正できません。すべてのラインのデータを指定すると、検査オーダラインの状況が「完了」に設定されます。
- テスト結果が不合格である品目について、不適合レポートを作成します。
- アイコンは、評価アルゴリズム機能を表します。
- 指定した品目と取引先の組合せについて、不適合レポートを [不適合レポート] ペインに表示できます。また、このペインから、不適合レポート (qmncm1100m000)、修正措置計画 (qmcpl1100m000)、品目 - 一般 (tcibd0101s000)、および部品表品目の各セッションにもアクセスできます。不適合レポートを、「取消済」または「クローズ」以外の状況に設定する必要があります。

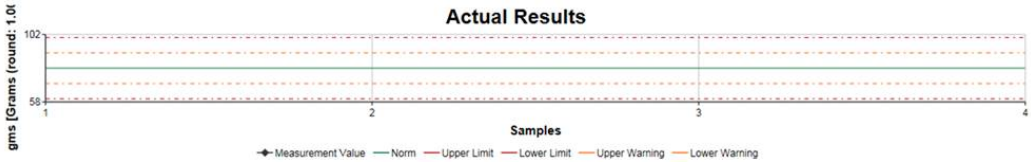
指定のテストデータ、および検査データラインのデフォルト値は、検査オーダ (qmptc1100m100) セッションの対応する検査オーダラインから取得されます。

実際の結果グラフ

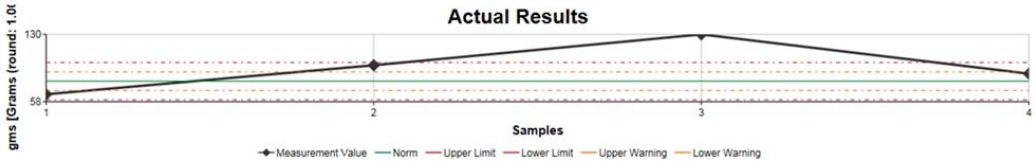
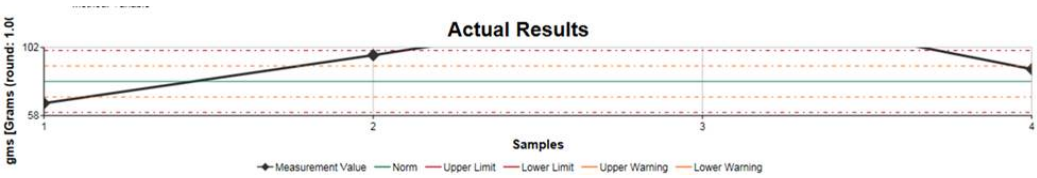
実際の結果グラフは、サンプル番号、および各サンプルに指定されたサンプル値に基づいてプロットされます。サンプルデータを指定すると、値が実際の結果グラフにプロットされます。

グラフは次のように表示されます。

- 緑の線は、標準値を表します。
- 赤の点線は、検査オーダラインに定義された上限値と下限値を表します。



[すべての値の表示] チェックボックスをオンにすると、グラフ全体が表示されます。



オフの場合、指定した上限および下限の間にある値が表示されます。